

平成 21 年 3 月 19 日  
日興コーディアル証券株式会社

## 日興コーディアル証券 2009 年部店長会議 渡邊英二(取締役社長)発言要旨

### 〈現在の環境について〉

- ・現在の歴史的な金融危機を、「躍進のための飛躍の時」と前向きに捉える。
  - 日本の企業力、そして何よりも 1,400 兆円ある個人金融資産の底力は健在と確信している。
  - 各国政府における財政政策の協調、「大きな政府」による公的なサポートの強化という世界的な流れが世界経済を下支え。流れは必ずどこかで変わる。
- ・お客様へのフォローと様々な提案でお客様に貢献し、「我々が回復を率先する」意気込みで挑む。
  - 基本に戻り、「わかり易い商品、組織・人員体制」の整備を先行。
- ・自らの本業に集中し、ひたむきに邁進する。

### 〈経営方針について〉

- ・2009 年度の経営方針：「**お客様への価値提供を通じ、存在感のある証券会社を目指す**」
  - 「お客様への価値」、即ち「社員の能力、商品の質、お客様とのコミュニケーションの量」を高め、お客様に貢献する。
  - 我々が目指すのは、度重なる激変を経ても当社と取引頂いているお客様に貢献するとともに新たに「日興ファン」となって頂けるお客様を拡げること。
  - そのために、「人材育成」と「働く環境の整備」に取り組む。

### 〈人材育成について〉

- ・「年齢を問わず生き活きと前向きに働く人」、「お客様への価値提供に相応しいレベルの高い能力や経験を有する人」が集う「人材の厚み」が競争力の源泉。
  - 経験豊富なベテランと、エネルギー溢れる若手の交流を進める。
  - 入社時研修の長期化と充実、育成担当の営業管理職の設置等、研修・育成体制を強化する。
  - 今後も育成を重視しながら、新規採用ペースは維持したい。

部店長には、お客様にとっても、部下社員にとっても頼もしい存在であり続けることを期待している。

以 上